

第9回資金運用管理委員会議事要旨

平成30年12月18日（火） 15:00～16:20

於 安田講堂特別会議室

【委員】松木委員長、水野委員、神澤委員、福田委員、佐藤委員

【陪席】翁氏、服部監事、澤井監事（欠席）

【事務局】平野副理事・財務部長、小川経理課長、
平野副課長、中西係長、岸係員

議事要旨

1. 投資一任契約締結状況（報告）

委員長より、前回決定した各ファンドとの契約締結状況について報告があった。

2. 目的指定寄附金（290億円）の一部運用（23億円）について

目的指定寄附金の運用のうち、債券の満期償還等により未運用となっていた23億円の運用方針について審議を行った。債券パッシブファンドによる運用を行う方向でまとまったが、専用口座開設のため50億円程度の運用規模が必要となることから、運用コンサルティング会社から再度提案を行うこととなった。

【補足】

後日、運用コンサルティング会社から提案についてメール審議の結果、未運用の23億円と現在保有中の債券を売却することにより得られる30億円を合わせた53億円で債券パッシブファンド運用を開始することを決定した。

3. ESG投資への取り組み

・ESG投資方針案について審議を行い、決定した。本案を1月の経営協議会及び役員会に諮っていくこととなった。

・運用コンサルティング会社より、海外のESG投資・大学運用に関する現地調査報告があった。